

高神覺昇 たかのかみ かくあき 佛教學者。明治二十七年十月二十八日三重縣生れ、
昭和二十三年一月二十六日歿（一八九四—一九四八）。舊姓齋藤。號無怒庵。
大正五年智山大學卒。次ぐ大谷大學、東大寺等で浄土教を研鑽。九年
智山専門學校教授。のちラジオで「般若心經」の講義をして、「躍々の
名」と知られるに至つた。

著書に『佛教 聖典 般若心經講義』（昭和九年六月十七日第一書房）、『白
木精神と佛教』（昭和十年十一月海軍省教育局「思想研究資料」）、
『戦後の思想問題』（他六名合著、昭和十四年九月十五日第一書房「戦
時體制版」）、『弘法大師言行録』（昭和十五年三月五日三省堂）、
『清國の精神』（昭和十七年六月二十日第一書房）、『日本の人生觀』
（他九名合著・大島豊編、昭和十七年十月十五日文惠堂）、『新講白
木佛教列祖傳』（他六名合著・毎日新聞社編、昭和十九年九月一日女
子出版株式會社）、『心の據野を求めよ』（昭和二十一年十二月一
日青山書院）等の他、『高神覺昇選集』全十卷（昭和五十一年刊）
がある。

